

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100109
事業所名	グループホーム 額田あじさいの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 市の“世代間交流事業”の一環として、利用者が近隣の2つの保育園に出かけて子どもたちと交流している。昨年からは小学校とも交流が始まり、利用者の楽しみが増えている。 毎週月曜日は「喫茶デー」が定着しており、地域の喫茶店と同法人の特養施設内にある喫茶ルームを交互に利用している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族に対して運営推進会議参加の呼びかけを続けているが、参加者は少ない。しかし、利用者代表、地区副総代、民生委員、地域包括支援センター職員が毎回出席しており、内容の濃い意見交換が行われている。 地区副総代はメンバー交代となったが、新副総代は以前にも運営推進会議への参加経験があり、地域の有効な情報を提供している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者が、グループホームだけでなく、法人の他の事業所をも統括していることから市の担当課との関係性が深く、良好な関係を構築している。 市や地域包括支援センターとの連携の下、継続的に認知症サポーター養成研修を実施している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者や家族からの要望もあって、今年の敬老会は回転寿司に出かけた。握り寿司の基本7貫が出されたが、追加注文する利用者もあった。都合により参加できなかった利用者には、同じ寿司店から出前の寿司が届いた。 利用者に大好評だったことから、冬の「富士山見学ツアー」の昼食は、回転寿司を利用することとなった。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	